

猛暑日を考慮した工期設定について

1. 用語の定義

◆猛暑日日数

8 時～17 時に暑さ指数（WBGT 値）が 31℃以上または気温が 35℃以上となる時間を足し合わせた日数。

（8 時～17 時に WBGT 値 31℃以上または気温 35℃となる時間の合計÷8）

※土日祝日及びお盆（8/13～15）は除く。

◆暑さ指数（WBGT 値（湿球黒球温度））

熱中症を予防することを目的として人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標であり、①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の 3 つを取り入れた指標。

2. 実施方法

（1）起工設計書

①夏季の現場作業が想定される工事について、標準工期等から算出した工期とは別に環境省が公表している近傍の観測地点（長崎）における猛暑日日数を参考に、5 年平均の猛暑日日数を足し合わせた日数を契約工期として発注する。（余裕 期間等により夏季の現場作業となるか判別できない場合も計上する）

②特記仕様書「施工条件明示」において、①で見込んでいた猛暑日日数を明示するものとする。

（2）変更設計書【受注者より猛暑日日数の乖離について申し出があった場合】

①発注者が当初見込んでいた猛暑日日数と実績に著しく乖離が生じ、かつ猛暑日により現場作業を休止せざるを得なかった場合には、猛暑日日数の乖離状況及び現場の休止状況が分かる資料を添付の上、工期延長の協議・請求ができるものとする。

②猛暑日日数の乖離に伴う工期延長については、現場環境を把握可能な受注者からの発議により実施するものとし、受注者からの発議が無い場合は、猛暑日日数に関する変更は行わない。

また、当初見込んでいた猛暑日日数の実績に満たない場合でも工期の短縮等を行わない。

③猛暑日日数の実績は、熱中症予防の観点から現場の WBGT 値を実測により把握することを基本とするが、環境省が公表している観測地点の WBGT 値または気象庁が公表している観測所の気温を基に算出しても良いものとする。

（8 時～17 時に WBGT 値 31℃以上または気温 35℃以上となる時間の合計÷8）

※土日祝日及びお盆（8/13～15）は除く。

④現場で WBGT 値を実測する場合は、ISO 7243（JIS Z 8504）または JIS B 7922

に適合した黒球付きWGB T測定器により計測するものとする。

⑤当初見込んでいた猛暑日日数と実績に乖離が認められ、かつ猛暑日に現場作業を休止していることが確認できた場合は、実績との乖離日数分について工期を延長できるものとする。

⑥ ⑤の工期延長に伴う増加費用について受注者から請求があった場合は、土木工事標準 積算基準書 第Ⅰ編 第10章「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」または、港湾・漁港請負工事積算基準 第2章4節その他「工事における工期の延長等に 伴う増加費用等の積算」により増額を行うものとする。

(3) 対象工事

大村市、大村市上下水道局並びに大村市ボートレース企業局が発注する工事において、主たる工種が屋外作業となる工事を対象とする。

※工場製作工のみの工事は対象外とする。

(4) 適用

本通知は、令和6年7月30日以降に起工する工事に適用するものとする。

なお、本通知日以前に起工済み、または当初見込んでいない工事についても受注者から申し出があった場合は、猛暑日により現場作業を休止した日数分を工期延長可能とし、実績の把握方法や運用等 については、本通知の(2)②～⑥によるものとする。

3. その他

現地状況や工事内容等により、対応が困難な場合については、本通知によらないことができるものとする。

参 考 資 料

○運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温 が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水 分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に 水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は 必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので 注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019) より

○現場で使用するWBGT測定器について（黒球付きWBGT測定器）

